

一般国道329号 南風原バイパス(島尻郡南風原町新川～那覇市真地)の工事について(公開質問状)

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より道路管理につき何かとご高配を頂き感謝いたします。
さて、一般国道329号 南風原バイパス(島尻郡南風原町新川～那覇市真地)の工事につきまして新川営業所発着の路線バスの経路変更が発生したことにより、県立医療センター利用者に不便が発生していることにつきまして公共交通を利用する者の代表として公開質問状の形をとり質問を提示し回答を要請するところです。

記

・回答期限	2016年11月25日
・回答の様式	文書による
・回答送付先	送信したメールへそのまま返信 (webmaster@rosenbasu.com)

質問内容

1. 島尻郡南風原町新川～那覇市真地は、片道2車線で中央分離帯を設けた理由
2. 道路を整備するにあたり、渋滞緩和は理解できるが、道路は「車」、「歩行者」のどちらを優先して作っているのか
3. 上記質問、1. に伴い那覇バス(新川営業所)を発着する路線バスが運行経路を変更せざるを得なくなった事についての見解
4. 上記質問3. に伴い、新川営業所向け(上り)が県立医療センター構内を通れなくなった事により、県立医療センター利用者に不便を来している事についての見解
(現地調査を行った別紙(調査結果)をご確認の上で、ご回答願います。)
5. 上記質問4. から、元々、那覇バスが運行していた中、国道工事を進め、交通弱者を蔑ろにしている現状と、救済する考えはあるのか。
あれば、具体策の開示。また、無い場合はその理由。

※当件は、那覇バス(株)・県立医療センター関係者は一切関わっておりません

— 以上 —

別紙(調査結果)

1. 国道の状態



県立医療センター方面から新川交差点向けの状態
(中央分離帯が新川交差点まで設置されている)

那覇バス(新川営業所)バス入出庫口



出庫するバスは全て左折していくため、特に支障はない

中央分離帯が設置されているため、新川交差点向けは、新川営業所へ入庫できない

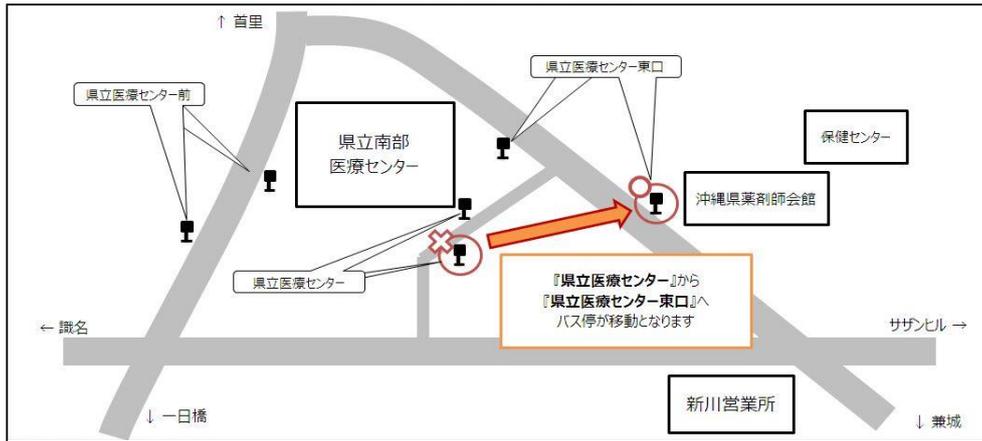
以前は、各地→県立医療センター(構内)→国道329号線を右折→営業所

中央分離帯設置後は、各地→県立医療センター東口→(右折して)国道329号線→国道329を左折→営業所

これに伴い、那覇バスは下記の措置を取らざるを得なくなりました。

お知らせ

平成28年6月27日(月)より県立医療センター(病院構内)のバス停が移動になります。
病院へお越しの際はご注意ください。



お問い合わせ先: 新川営業所
098-882-7145

那覇バス株式会社

撮影に際し、十分な安全確保を行い実施しております。

2. バス停留所が変更になったことで何が変わったのか

(1) 旧: 県立医療センター(構内)へ乗り入れていた場合の利用者

① 県立医療センター(上り)バス停にて下車し、県立医療センターへ向かう手順(6月27日付けで廃止)



県立医療センター停留所で下車

②



バスと逆方向へ20m程、戻ると、横断歩道が確認できる

③



左右の安全を確認しつつ、横断歩道を渡る

④



横断歩道を渡るともう一息
日差しは強い

⑤



屋根があつて、一息つける

⑥



入口に到着

バス停から、ここまでの所要時間：**1分1秒**

(2) 新：県立医療センター東口からの利用者

① 県立医療センター東口バス停にて下車し、県立医療センターへ向かう手順(6月27日付けから施行)



県立医療センター東口停留所で下車

②



バスと逆方向へ30m程、戻る

③



信号機の前に到着

④



横断歩道で、信号待ち

右手前方が、県立医療センター

※信号機は押しボタン式となっており、気がつかなければ
永久に待ち続ける可能性あり

⑤



信号が青になったので、左右の安全を確認しつつ、横断歩道を渡る

⑥



向かいの道路へ渡るため、更に信号待ち

暑い・・・

⑦



信号が青になったので、左右の安全を確認しつつ、横断歩道を渡る

横断歩道を渡らず、左手に折れると、
(1) 旧：県立医療センター（構内）へ乗り入れていた場合の利用者
の②の坂の上に繋がる（坂の勾配も急で、日陰はない）

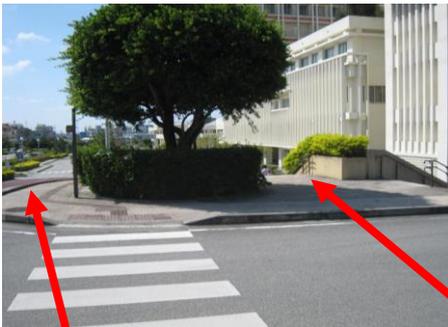
多少、日陰のある経路を進む事にする

⑧



先を急ごう

⑨



最短経路を選択しよう

若干の日陰

車椅子等を利用している方は
スロープのある方へ進む

こちらは最短経路であるが、階段となっている

⑩



最短ルートの階段を使用する。

高齢者には厳しそう

⑪



階段を降りてひたすら、まっすぐ歩く

あつい……

⑫



やっと、屋根のある場所へ入った

⑬



入口に到着

汗だく……

バス停から、ここまでの所要時間: **3分35秒**

3. 考察

健常な成人男性が測定した結果、(ストップウォッチで測定したが、誤差は±1秒程)

	降車バス停	所要時間	備考
旧	県立医療センター	1分1秒	信号待ちもなく、所要時間は固定
新	県立医療センター東口	3分35秒 2分25秒(※)	最初の信号の信号待ちが最大1分10秒 2番目の信号は確実に待ちが発生する。 (※)最短だと、1分10秒を引いた2分25秒 但し、最初の信号が押しボタン式だと気づかない 場合、所要時間は∞となり想定不可能

上記結果から、バス利用者は非常に不便になった。

所要時間は明らかに、2.5倍～3.5倍となった(押しボタンに気づかないとそれ以上となる)

上りバス停を使えないということは、これから病院へ向かう患者さんである。

体はきついのに、移動距離を伸ばすとはどういうことなのか。

測定値は健常な成人男子である。

患者さんは、老若男女いらっしゃいます。

特に、年配の方は、今回の移動時間の2～3倍はかかることでしょう。

(ということは、10分近くかかることになる。)

更に、調査した日は写真のように晴れ渡り、日差しが強く、暑かった。

県立医療センター東口からだると、Tシャツだけでも、汗ばんだ。

これを、患者さんに強いるということなのでしょうか？

また雨が降ると、傘をさしても足元を始めいろいろと濡れます。

滑らないようにと、慎重に歩くことで、更に所要時間は伸びます。

渋滞緩和で国道の整備は理解しますが、そのとばっちりを食うのが交通弱者である、**病院利用者**となっている。

単に、新川営業所へ右折できるよう、中央分離帯の一部を取り外すという見直しを行えば済む問題ではないのでしょうか？

一度決めたら変えられないというのであれば、なぜ変えられないのか、決めた責任者の見解も聞かせて頂きたい。

この調査結果を踏まえて冒頭の質問にお答え頂けますよう、お願い致します。

沖縄総合事務局南部国道事務所長 様 からのご回答

(以下の内容をメールにて受け取りました。)

*** 様

貴重なご意見、ありがとうございます。

***様の質問に対する回答は以下のとおりです。

質問内容

1. 島尻郡南風原町新川～那覇市真地は、片道2車線で中央分離帯を設けた理由

回答:道路構造令第6条(車線の分離等)より「車線の数が4以上である道路について、安全かつ円滑な交通を確保するため、往復の方向別に分離するものとする」とされていることから設置しております。

また今回の場合、交差点間隔が近いため、将来的にも交通事故が予想され事故防止の観点から中央分離帯を設置しています。

2. 道路を整備するにあたり、渋滞緩和は理解できるが、道路は「車」、「歩行者」のどちらを優先して作っているのか

回答:「歩行者」「車」いずれも安全性を確保(交通安全、重大事故防止)するため道路整備を行っており、優先順位はございません。

3. 上記質問、1. に伴い那覇バス(新川営業所)を発着する路線バスが運行経路を変更せざるを得なくなった事についての見解

4. 上記質問3. に伴い、新川営業所向け(上り)が県立医療センター構内を通れなくなった事により、県立医療センター利用者に不便を来している事についての見解

5. 上記質問4. から、元々、那覇バスが運行していた中、国道工事を進め、交通弱者を蔑ろにしている現状と、救済する考えはあるのか。あれば、具体策の開示。また、無い場合はその理由。

回答:3～5の質問について、道路の整備を進めるにあたり、周辺関係者との協議を平成22年度から実施し理解していただいております。その際、県立医療センター利用者へ配慮し、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターを周回して、玄関前で降車ができる案を那覇バス株式会社に掲示しているところです。

今後とも道路事業にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。